

おしらせ

- ★平成17年4月から土日も**午後のみ開館**しています。
- ★図書館の閉館日 祝日と年末年始(12/31~1/3)
蔵書点検日(年に1回2日間予定)
- ★問い合わせ先
西粟倉村教育委員会 あわくら会館図書係まで
☎0868-79-2216

E-mail:toshokan@vill.nishiwakura.okayama.jp

インターネットでの本予約は、利用者番号(図書カード番号)とパスワード(5050)を入力してください。

ご存じですか？ 図書館の本 IV

先月に引き続きこども図書館の月刊誌をご紹介します。先月紹介した「母の友」と同じ階段の上がり口の書棚に置いてある「かがくのとも」「おおきなポケット」「たくさんのふしぎ」です。「かがくのとも」は、1969年、世界ではじめて創刊された、月刊科学絵本です。動物、植物、宇宙、数学、身体、衣食住をはじめ、子どもをとりまく自然や社会のさまざまな事柄を題材にしています。

▼かがくのとも 12

なんでもあこのみやき



かがくのとも12月号

『おおきなポケット』は、小学生になると、とたんに本から離れてしまうのは、ピッタリの本がないからだと考えて、創られています。お母さんやお父さんのぬくもりを感じながら、一緒に楽しめる「おはなしポケット」や、自分ひとりで本を読む喜びと誇りを満たしてくれるページ「今月のポケット」「ポケットひろば」など、この年齢の「今」を大切にしています。

おおきなポケット



おおきなポケット12月号



たくさんのふしぎ12月号 12

「たくさんのふしぎ」は、毎月、ひとつのテーマを魅力いっぱいの文章と絵(写真)で構成しています。小学3・4年生向けに編集していますが、絵を中心に見ると、低学年生にも楽しめ、文や絵の内容を深く読みこめば、高学年生も楽しめます。

いずれも、小学校に上がる前後位からの雑誌ですが、毎月工夫を凝らし、こだわって創られています。ぜひ一度、手にとってみてください！

※ 雑誌の貸し出しは翌月からとなっています。今月号は、貸し出しできませんのでご了承ください。

図書館へ行こう！

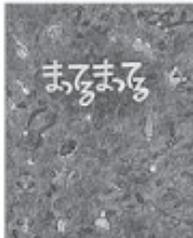
児童書

今月の新着本

イワシダラケはどこにある？▶

作：エッガーマン、ヴェラ ソニー・マガジズ

2匹のネコと楽しいなかまのふしぎでおかしなだいぼうけん！？ことばあそびもまじえたカラフルで楽しい絵本。



◀まってるまってる

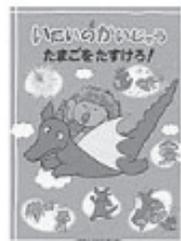
作：近藤薫美子 教育画劇

「まつ」たのしき、「まってる」もらえるよ。こび、めぐるきせつのがかいていつでもどこでも、なにかがどこかでまってる、まってる。なにをまってる。

いえででんしゃはこしょうちゅう？▶

作：あさのあつこ 新日本出版社

うふうふうふ だれもないはずのへやで音がした。ふあついカーテンが、ゆれた。だれか、いる。だれか、かくれてるんだー？



◀いたいのかいじゅう たまごをたすける！

作：キヨノ サチコ 偕成社

ぼくには「いたいのかいじゅう」コロというともだちがいる。コロは、えほん「ノンタンいたいのとんでけ〜」からとびだしてきた、とんでったいたいのをたべちゃうがいじゅうだよ。あるひもうーびきがいじゅうがあらわれた！たいへん！コロのうちのたまごがぬすまれたらしい。

フェアリー・レルム1 金のプレスレット▶

作：ロッド、エミリー 童心社

おばーちゃんがけがをしたという知らせをうけ、ジェシーはブルームーン館へ。そこでなにかたいへんなおこっていると感じる。

おばあちゃんの大変なプレスレットがないことに気づいたジェシーは、ひょんなことから妖精の世界へまざれこんでしまう。



一般書

エンピツは魔法の杖▶

著：サム・スウォープ あすなろ書房

移民の街、ニューヨーク・クイーンズ。さまざまな人種、さまざまな事情を抱えた子どもたちに「クリエイティブ・ライティング」を教えたスウォープ先生の「心をゆさぶる授業記録」。



▼そして妻は「ハッピーっ」と言い遺して逝った

著：周郷頭夫 主婦の友社

胆嚢(たんのう)がんを摘出した妻の術後を楽観していた著者、あっという間の転移・再発・余命3カ月の宣告。最後の日々をホスピスで過ごした妻の臨終の言葉は「ハッピーっ」だった。享年59歳。喪失の時から2年近くを経て出版した「妻の闘病記」。

今ここにいるぼくらは▶

著：川端裕人

あのころもこれからも、きっと宇宙にまで、あなたと少年の心臓を貫いて、川は流れていくんだ。「川・少年小説」という新しい分野を切り開いた著者の近作。

